

朝来町立 山口小学校の実践のポイント

(所在地：兵庫県朝来郡朝来町羽淵775、全校生徒数 269名)

【山口小学校の読み書き計算について】

実践の特色 = 「学校とは何か」から導き出された答

- 1 読み書き計算の習熟を中核 基礎学力の確実な定着
・ 苦しい勉強も成長が自覚されることで喜びに変わる。
- 2 学校ぐるみの実践 人間のつながりを育てる
・ 指導を個々の教師の力量に委ねては、子どもの安定した成長は期待できない。
・ 友達同士が励まし合う学校でこそ、「反復学習」ができる。
- 3 学力づくりを全人格的な発達の中核

基礎学力とは何か

- ・ 読み書き計算の能力は、基礎中の基礎 = 学習能力
- ・ 学習する作業には、どの教科でも、読み書き計算の能力が要る

「言葉と数」に絞り込んで学習

「読む」指導

- 1 音読・暗唱指導
同じ文章を一ヶ月くらい音読 暗唱 《言語の学習はこれが効果的》
- 2 読書指導
ア 朝の10分間読書
イ お話を聞く会
ウ 図書委員会、学級文庫
月1回の読書量調査、学期毎の40冊学級用図書
- 3 読解指導
ア 一人調べ
登場人物の心情や情景描写を表す言葉を見つけ、自分の解釈を書く
イ 全体学習
・ 自分の読解内容を発表
・ 「聞く構え」と「話す技術」が必要

「書く (= 漢字の書き取り)」指導

- ・ 一般的には、4年生から極端に習得率が悪化 8割以上の習得率に改善

 - 1 新出漢字は2学期末までに終了 3学期は復習期間
 - 2 全校一斉漢字力試し(年度末に、全学年共通で20字出題)
習得率の悪い漢字をピックアップし、指導資料にできる

「計算と算数」の指導

- ・ 一桁の足し算、引き算、掛け算は計算の中核 百ます計算

 - ・ 時間計測、急速に向上
 - ・ 精神的にも安定
 - ・ 集中力は他教科や作業に転化

【学力作りの条件】

生活作りと家庭との連携

基礎基本を習得していくための反復・継続

集中力・忍耐力・精神の安定

生活習慣の確立

- ・ 生活アンケート
- ・ ご飯の朝食
- ・ 睡眠時間の確保
- ・ テレビ視聴の短縮

食生活・生活習慣の授業参観 = 家庭との連携

山口小学校では問題行動 = 教師は授業に全力投球
は極めて稀 できる

体作りと憧れ

- ・肥満児・運動不足児童 学校ぐるみで毎朝ジョギング、縄跳び
- ・技能面の指導では、
 - 1 基本的な指導のポイントを確認
 - 2 6年中心の模範演技を全校生に見せつける
 - 3 ビデオの利用、異学年合同体育
 - 4 マット・鉄棒の発表会
- ・オリンピックの原理の活用 上下のつながり、上級生の自覚

学力向上のポイント

- ・限られた時間内で、効率的に成果上がる = 成長が一目で分かるもの
- ・学校ぐるみの実践 準備が簡単な教材（例：百ます計算）
- ・基本的なこと、つまづき易いことに限定した教材づくり 徹底反復
《これが学力向上の近道》
注：徹底反復で覚えることは、自主的な体験学習を阻害するものではなく、むしろ豊かにする

実践してわかったこと

- 1 読み書き計算 学習能力（知能指数）が向上 他の学習活動に好影響
- 2 高度なものに挑戦 全力を尽くす 自分の限界を拓げる 自信
心が安定（決して荒れない）
- 3 子どもの挑戦意欲に火を付ける 実際にやっている実例を見せる

子どもを伸ばす学校の条件

- 1 子供と触れ合う時間が多いこと
 - ・日常的に声をかける、一緒に活動する
 - ・会議は少なく 隙間の時間で打ち合わせを
 - ・時間外勤務をできるだけ避け、精力を集中して子どもに接することに傾注
- 2 児童活動の組織化
 - ・自主活動の場を増やす 縦割り班のフル活用 子どもは本気になる
" 協力する
- 3 家庭・地域・行政との連携
 - ・地域の協力を得て体験学習 基礎学力が付いているので時間を醸し出せる
- 4 情報公開と教師の連携
 - ・学校ぐるみの実践には、教師のスタンドプレー害悪
 - ・教師がお互いの弱点を分かっている、全体として補完していくシステム
||
校内の情報公開（指導の結果を全体に出す 教師間の信頼関係）
・基礎学力づくりの手引き書（これだけはやらせておきたい内容）
個々の学年の責任において習得させる
- 5 子どもの努力を正しく評価するシステム
 - ・頑張れば成績が上がるシステム 絶対評価で解決
 - ・努力とは具体的に何をすることかを明確化（テスト前のテスト調べ）

山口小学校の成果と感謝

- ・学力作りの成果は、「信頼」。卒業してなお逆に強まる絆。何のために勉強させたかの答えが、卒後の姿にある。
注：「勉強で子どもを苦しめれば、子どもは荒れる」と多くの人々は信じているのを、私達も当初はそれを否定し切る自信がなかった。しかし、山口小の子ども達がそうではないと答えを出してくれている。
- ・「学校は勉強するところ」に徹しきり、地域で存分に遊ぶ。